

2 0 2 4 事 業 年 度

決 算 報 告 書

自 2024年4月1日

至 2025年3月31日

目 次

貸 借 対 照 表

正味財産増減計算書

計算書類の附属明細書

財 産 目 録

監 事 監 査 報 告 書

独立監査人の監査報告書

貸 借 対 照 表

2025年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	123,434,941	180,192,223	△ 56,757,282
未収金	467,248,939	478,395,478	△ 11,146,539
前払金	31,582,526	32,721,412	△ 1,138,886
流動資産合計	622,266,406	691,309,113	△ 69,042,707
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本金預金	300,000,000	300,000,000	0
基本財産合計	300,000,000	300,000,000	0
(2) 特定資産			
建物及び附属設備	2	2	0
構築物	53,335,469	62,576,653	△ 9,241,184
什器備品	2,465,424	7,292,681	△ 4,827,257
退職給付引当資産	287,598,300	261,593,100	26,005,200
特定資産合計	343,399,195	331,462,436	11,936,759
(3) その他固定資産			
建物及び附属設備	11,904,299	13,875,455	△ 1,971,156
構築物	191,793,006	241,386,444	△ 49,593,438
什器備品	15,691,600	16,799,485	△ 1,107,885
リース資産	11,940,682	0	11,940,682
ソフトウェア	28,052	488,949	△ 460,897
電話加入権	1,807,836	1,807,836	0
敷金	36,504,070	36,204,070	300,000
保証金	1,053,280	1,908,332	△ 855,052
その他固定資産合計	270,722,825	312,470,571	△ 41,747,746
固定資産合計	914,122,020	943,933,007	△ 29,810,987
資産合計	1,536,388,426	1,635,242,120	△ 98,853,694

科 目	当年度	前年度	増 減
Ⅱ 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	68,174,537	78,494,379	△ 10,319,842
預り金	4,561,850	9,157,813	△ 4,595,963
短期借入金	200,000,000	260,000,000	△ 60,000,000
短期リース債務	2,490,481	0	2,490,481
賞与引当金	19,690,348	18,669,659	1,020,689
流動負債合計	294,917,216	366,321,851	△ 71,404,635
2. 固定負債			
退職給付引当金	277,014,300	253,109,100	23,905,200
役員退職慰労引当金	10,584,000	8,484,000	2,100,000
長期リース債務	9,518,395	0	9,518,395
固定負債合計	297,116,695	261,593,100	35,523,595
負債合計	592,033,911	627,914,951	△ 35,881,040
Ⅲ 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
政府機関補助金	55,720,356	69,733,745	△ 14,013,389
科学研究費補助金受贈資産	80,539	135,591	△ 55,052
地方公共団体出捐金	89,000,000	89,000,000	0
寄付金	198,551,000	198,551,000	0
指定正味財産合計	343,351,895	357,420,336	△ 14,068,441
(うち基本財産への充当額)	(287,551,000)	(287,551,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(55,800,895)	(69,869,336)	(△14,068,441)
2. 一般正味財産	601,002,620	649,906,833	△ 48,904,213
(うち基本財産への充当額)	(12,449,000)	(12,449,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	944,354,515	1,007,327,169	△ 62,972,654
負債及び正味財産合計	1,536,388,426	1,635,242,120	△ 98,853,694

正味財産増減計算書

2024年4月1日から2025年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	(862)	(21,072)	(△ 20,210)
基本財産受取利息	862	21,072	△ 20,210
② 特定資産運用益	(1,311)	(3,744)	(△ 2,433)
特定資産受取利息	1,311	3,744	△ 2,433
③ 事業収益	(1,248,824,080)	(1,244,032,541)	(4,791,539)
研究業務支援事業収益	568,360,886	559,249,942	9,110,944
政府機関受託研究収益	265,061,536	259,454,199	5,607,337
民間企業等受託研究収益	415,401,658	425,328,400	△ 9,926,742
④ 受取補助金等	(14,013,388)	(14,624,587)	(△ 611,199)
受取政府機関補助金振替額	14,013,388	14,624,587	△ 611,199
⑤ 受取寄付金	(55,051)	(210,916)	(△ 155,865)
受取寄付金	0	129,800	△ 129,800
固定資産受贈益振替額	55,051	81,116	△ 26,065
⑥ 雑収益	(771,065)	(1,052,742)	(△ 281,677)
受取利息	76,555	1,597	74,958
雑収益	694,510	1,051,145	△ 356,635
経常収益計	1,263,665,757	1,259,945,602	3,720,155
(2) 経常費用			
① 事業費	(1,266,128,871)	(1,255,335,030)	(10,793,841)
役員報酬	15,750,000	15,838,393	△ 88,393
給料手当	379,945,273	376,662,824	3,282,449
賞与引当金繰入額	18,238,171	17,509,111	729,060
臨時雇賃金	81,537,030	83,308,467	△ 1,771,437
退職給付費用	23,234,900	22,303,203	931,697
法定福利費	77,147,260	76,752,319	394,941
福利厚生費	3,599,209	3,122,102	477,107
人材派遣費	106,921,819	84,666,763	22,255,056
会議費	7,523,375	5,680,311	1,843,064
旅費交通費	30,891,111	27,652,283	3,238,828
通信運搬費	22,684,010	21,030,707	1,653,303
減価償却費	72,692,487	91,721,024	△ 19,028,537
図書購入費	420,959	667,498	△ 246,539
消耗品費	6,387,095	5,673,248	713,847
修繕費	4,557,505	9,118,208	△ 4,560,703

科 目	当年度	前年度	増 減
印刷製本費	4,193,966	4,747,349	△ 553,383
光熱水料費	6,294,112	5,921,445	372,667
調査研究費	134,770,290	129,033,204	5,737,086
保守点検費	34,379,283	31,145,561	3,233,722
データベース諸費	19,105,714	26,933,029	△ 7,827,315
賃借料	100,967,148	100,142,837	824,311
清掃費	2,570,978	2,607,515	△ 36,537
諸謝金	31,173,459	26,122,164	5,051,295
支払助成金	1,000,000	1,000,000	0
情報啓蒙費	6,666,319	6,613,909	52,410
保険料	1,117,087	1,192,560	△ 75,473
諸会費	3,152,792	3,697,428	△ 544,636
租税公課	65,326,001	70,335,215	△ 5,009,214
支払利息	1,078,448	1,306,893	△ 228,445
雑費	2,803,070	2,829,460	△ 26,390
② 管理費	(46,281,760)	(41,889,104)	(4,392,656)
役員報酬	6,444,000	6,607,465	△ 163,465
給料手当	18,481,303	15,275,250	3,206,053
賞与引当金繰入額	1,452,177	1,160,548	291,629
退職給付費用	2,770,300	2,591,555	178,745
法定福利費	3,505,593	3,123,532	382,061
会議費	0	2,016	△ 2,016
旅費交通費	1,172,713	968,826	203,887
通信運搬費	33,267	39,041	△ 5,774
減価償却費	93,643	61,714	31,929
消耗品費	0	65,058	△ 65,058
印刷製本費	216,744	207,944	8,800
光熱水料費	197,119	149,760	47,359
保守点検費	309,980	285,120	24,860
賃借料	2,939,332	2,459,441	479,891
清掃費	223,792	187,255	36,537
諸謝金	4,816,933	5,238,733	△ 421,800
保険料	159,293	107,460	51,833
諸会費	97,240	283,000	△ 185,760
租税公課	3,321,499	3,023,765	297,734
支払利息	38,802	47,991	△ 9,189
雑費	8,030	3,630	4,400
経常費用計	1,312,410,631	1,297,224,134	15,186,497
当期経常増減額	△ 48,744,874	△ 37,278,532	△ 11,466,342

科 目	当年度	前年度	増 減
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	2	7	△ 5
① 受取補助金等	(1)	(7)	(△6)
受取政府機関補助金振替額	1	7	△ 6
② 受取寄付金	(1)	(0)	(1)
固定資産受贈益振替額	1	0	1
(2) 経常外費用	159,341	7,546,707	△ 7,387,366
① 特定資産除却損	(2)	(7)	(△5)
什器備品除却損	2	7	△ 5
② 固定資産除却損	(159,339)	(7,546,700)	(△7,387,361)
構築物除却損	0	7,438,513	△ 7,438,513
什器備品除却損	22	108,187	△ 108,165
ソフトウェア除却損	159,317	0	159,317
当期経常外増減額	△ 159,339	△ 7,546,700	7,387,361
当期一般正味財産増減額	△ 48,904,213	△ 44,825,232	△ 4,078,981
一般正味財産期首残高	649,906,833	694,732,065	△ 44,825,232
一般正味財産期末残高	601,002,620	649,906,833	△ 48,904,213
II 指定正味財産増減の部			
① 受取補助金等	(0)	(0)	(0)
受取政府機関補助金	0	0	0
② 固定資産受贈益	(0)	(0)	(0)
什器備品受贈益	0	0	0
③ 一般正味財産への振替額	(△ 14,068,441)	(△ 14,705,710)	(637,269)
受取政府機関補助金振替額	△ 14,013,389	△ 14,624,594	611,205
什器備品受贈益振替額	△ 55,052	△ 81,116	26,064
当期指定正味財産増減額	△ 14,068,441	△ 14,705,710	637,269
指定正味財産期首残高	357,420,336	372,126,046	△ 14,705,710
指定正味財産期末残高	343,351,895	357,420,336	△ 14,068,441
III 正味財産期末残高	944,354,515	1,007,327,169	△ 62,972,654

正味財産増減計算書内訳表

2024年4月1日から2025年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合 計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	(431)	(431)	(862)
基本財産受取利息	431	431	862
② 特定資産運用益	(1,259)	(52)	(1,311)
特定資産受取利息	1,259	52	1,311
③ 事業収益	(1,198,871,118)	(49,952,962)	(1,248,824,080)
研究業務支援事業収益	545,626,451	22,734,435	568,360,886
政府機関受託研究収益	254,459,075	10,602,461	265,061,536
民間企業等受託研究収益	398,785,592	16,616,066	415,401,658
④ 受取補助金等	(14,013,388)	(0)	(14,013,388)
受取政府機関補助金振替額	14,013,388	0	14,013,388
⑤ 受取寄付金	(55,051)	(0)	(55,051)
受取寄付金	0	0	0
固定資産受贈益振替額	55,051	0	55,051
⑥ 雑収益	(740,223)	(30,842)	(771,065)
受取利息	73,493	3,062	76,555
雑収益	666,730	27,780	694,510
経常収益計	1,213,681,470	49,984,287	1,263,665,757
(2) 経常費用			
① 事業費	(1,266,128,871)	(0)	(1,266,128,871)
役員報酬	15,750,000	0	15,750,000
給料手当	379,945,273	0	379,945,273
賞与引当金繰入額	18,238,171	0	18,238,171
臨時雇賃金	81,537,030	0	81,537,030
退職給付費用	23,234,900	0	23,234,900
法定福利費	77,147,260	0	77,147,260
福利厚生費	3,599,209	0	3,599,209
人材派遣費	106,921,819	0	106,921,819
会議費	7,523,375	0	7,523,375
旅費交通費	30,891,111	0	30,891,111
通信運搬費	22,684,010	0	22,684,010
減価償却費	72,692,487	0	72,692,487
図書購入費	420,959	0	420,959
消耗品費	6,387,095	0	6,387,095

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合 計
修繕費	4,557,505	0	4,557,505
印刷製本費	4,193,966	0	4,193,966
光熱水料費	6,294,112	0	6,294,112
調査研究費	134,770,290	0	134,770,290
保守点検費	34,379,283	0	34,379,283
データベース諸費	19,105,714	0	19,105,714
賃借料	100,967,148	0	100,967,148
清掃費	2,570,978	0	2,570,978
諸謝金	31,173,459	0	31,173,459
支払助成金	1,000,000	0	1,000,000
情報啓蒙費	6,666,319	0	6,666,319
保険料	1,117,087	0	1,117,087
諸会費	3,152,792	0	3,152,792
租税公課	65,326,001	0	65,326,001
支払利息	1,078,448	0	1,078,448
雑費	2,803,070	0	2,803,070
② 管理費	(0)	(46,281,760)	(46,281,760)
役員報酬	0	6,444,000	6,444,000
給料手当	0	18,481,303	18,481,303
賞与引当金繰入額	0	1,452,177	1,452,177
退職給付費用	0	2,770,300	2,770,300
法定福利費	0	3,505,593	3,505,593
旅費交通費	0	1,172,713	1,172,713
通信運搬費	0	33,267	33,267
減価償却費	0	93,643	93,643
印刷製本費	0	216,744	216,744
光熱水料費	0	197,119	197,119
保守点検費	0	309,980	309,980
賃借料	0	2,939,332	2,939,332
清掃費	0	223,792	223,792
諸謝金	0	4,816,933	4,816,933
保険料	0	159,293	159,293
諸会費	0	97,240	97,240
租税公課	0	3,321,499	3,321,499
支払利息	0	38,802	38,802
雑費	0	8,030	8,030
経常費用計	1,266,128,871	46,281,760	1,312,410,631
当期経常増減額	△ 52,447,401	3,702,527	△ 48,744,874

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合 計
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
① 受取補助金等	(1)	(0)	(1)
受取政府機関補助金振替額	1	0	1
② 受取寄付金	(1)	(0)	(1)
固定資産受贈益振替額	1	0	1
経常外収益計	2	0	2
(2) 経常外費用			
① 特定資産除却損	(2)	(0)	(2)
什器備品除却損	2	0	2
② 固定資産除却損	(159,339)	(0)	(159,339)
什器備品除却損	22	0	22
ソフトウェア除却損	159,317	0	159,317
経常外費用計	159,341	0	159,341
当期経常外増減額	△ 159,339	0	△ 159,339
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 52,606,740	3,702,527	△ 48,904,213
一般正味財産期首残高			649,906,833
一般正味財産期末残高			601,002,620
II 指定正味財産増減の部			
① 受取補助金等	(0)	(0)	(0)
受取政府機関補助金	0	0	0
② 固定資産受贈益	(0)	(0)	(0)
什器備品受贈益	0	0	0
③ 一般正味財産への振替額	(△ 14,068,441)	(0)	(△ 14,068,441)
受取政府機関補助金振替額	△ 14,013,389	0	△ 14,013,389
什器備品受贈益振替額	△ 55,052	0	△ 55,052
当期指定正味財産増減額	△ 14,068,441	0	△ 14,068,441
指定正味財産期首残高			357,420,336
指定正味財産期末残高			343,351,895
III 正味財産期末残高			944,354,515

財務諸表に対する注記

1. 継続組織の前提に関する注記

記載すべき事項はない。

2. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

有価証券は保有していない。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

個別法による原価法によっている。

(3) 固定資産の減価償却の方法

① 自己所有の固定資産

定額法による減価償却を実施している。

② リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。

(4) 引当金の計上基準

退職給付引当金：職員の退職給付に備えるため、期末要支給額（簡便法）により算定した金額を計上している。

役員退職慰労引当金：役員に対する退職慰労金の支給に備えるため、期末要支給額により算定した金額を計上している。

賞与引当金：職員に対する賞与の支給に備えるため、翌年度の支給見込額のうち、当年度に帰属する額を計上している。

(5) リース取引の処理方法

所有権移転外ファイナンス・リース取引でリース料総額が3,000,000円以上のものは通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

上記以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

利息相当額の算定方法は利息法によっている。各期への配分方法についてはリース料総額とリース物件取得価額相当額との差額を利息額としている。

(6) 未収収益の計上

期をまたがり当期に完了しない受託契約について年度収益計上の適正化のため、未完了契約に関わる当期の期間経過分を一定の基準で未収金として追加計上している。

(7) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税込方式によっている。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
基本金預金	300,000,000	0	0	300,000,000
小 計	300,000,000	0	0	300,000,000
特定資産				
建物及び附属設備	2	0	0	2
構築物	62,576,653	0	9,241,184	53,335,469
什器備品	7,292,681	0	4,827,257	2,465,424
退職給付引当資産	261,593,100	26,005,200	0	287,598,300
小 計	331,462,436	26,005,200	14,068,441	343,399,195
合 計	631,462,436	26,005,200	14,068,441	643,399,195

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
基本金預金	300,000,000	(287,551,000)	(12,449,000)	—
小 計	300,000,000	(287,551,000)	(12,449,000)	—
特定資産				
建物及び附属設備	2	(2)	—	—
構築物	53,335,469	(53,335,469)	—	—
什器備品	2,465,424	(2,465,424)	—	—
退職給付引当資産	287,598,300	—	—	(287,598,300)
小 計	343,399,195	(55,800,895)	(0)	(287,598,300)
合 計	643,399,195	(343,351,895)	(12,449,000)	(287,598,300)

5. 担保に供している資産

担保に供している資産はない。

6. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
特定資産			
建物及び附属設備	1,813,014	1,813,012	2
構築物	184,485,200	131,149,731	53,335,469
什器備品	94,735,910	92,270,486	2,465,424
小 計	281,034,124	225,233,229	55,800,895
その他固定資産			
建物及び附属設備	44,943,430	33,039,131	11,904,299
構築物	515,287,464	323,494,458	191,793,006
什器備品	153,281,573	137,589,973	15,691,600
リース資産	13,026,200	1,085,518	11,940,682
ソフトウェア	1,238,986	1,210,934	28,052
小 計	727,777,653	496,420,014	231,357,639
合 計	1,008,811,777	721,653,243	287,158,534

7. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

貸倒が予見されないため貸倒引当金は計上していない。

8. 保証債務等の偶発債務

保証債務はない。

9. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益

満期保有目的債券は保有していない。

10. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末 残 高	当 期 増加額	当 期 減少額	当期末 残 高	貸借対照表上 の記載区分
深地層の研究施設を使用した 試験研究成果に基づく当該施設 の理解促進事業費補助金	経済 産業省	69,733,745	0	14,013,389	55,720,356	指定正味財産
合計		69,733,745	0	14,013,389	55,720,356	

11. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額	うち、政府機関補助金の金額
経常収益への振替額		
目的たる支出を行ったことによる振替額	0	0
減価償却費計上による振替額	14,068,439	14,013,388
経常外収益への振替額		
特定資産除却損計上による振替額	2	1
合 計	14,068,441	14,013,389

12. 関連当事者との取引の内容

記載すべき事項はない。

13. 重要な後発事象

記載すべき事項はない。

14. その他

(1) 政府機関受託研究収益の内訳

正味財産増減計算書の政府機関受託研究収益に計上の受託調査研究課題等は、次のとおりである。

(単位：円)

委託元	調査研究課題	金額
国立研究開発法人 産業技術総合研究所	「長大な活断層帯で発生する地震の評価手法の高度化に関する調査研究 サブテーマ1-2：歴史文書の収集分析に基づく地震活動の検討」	7,999,877
文部科学省	科学技術基礎調査等委託事業 「地震調査研究推進本部の評価等支援事業」	257,061,659
合 計		265,061,536

(2) 研究者からの委託を受けて管理を行った科学研究費補助金

研究者からの委託を受け、次のとおり科学研究費補助金(学術研究助成基金助成金を含む。)の管理を行った。

(単位：円)

当期収入	件 数
(800,000) 240,000	4 件

(注1)間接経費を記載し、直接経費については()内に記載している。

(注2)間接経費については、研究者から譲渡を受け(正味財産増減計算書の「雑収益」に計上。)

研究開発環境の改善等に資する経費に使用している。

(3) リース取引関係

所有権移転外ファイナンス・リース取引

リース資産の内容

その他固定資産

公益目的事業における地震観測装置等である。

(4) 退職給付関係

① 採用している退職給付制度の概要

確定給付型の制度として退職一時金制度を設けている。

② 退職給付債務及びその内訳

(単位：円)

A 退職給付債務	△ 287,598,300
B 会計基準変更時差異の未処理額	0
C 退職給付引当金(A+B)	△ 287,598,300

③ 退職給付費用に関する事項

(単位：円)

A 勤務費用	26,005,200
B 会計基準変更時差異の費用処理額	0
C 退職給付費用(A+B)	26,005,200

④ 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

退職給付債務の計算に当たっては、退職一時金制度に基づく期末自己都合要支給額を基礎として計算している。

(5) 資産除去債務関係

当財団は、事務所等の不動産賃貸借契約に基づき、退去時の原状回復に係る債務等を有しているが、当該債務に関連する賃借資産の使用期間が明確でなく、現時点において将来退去する予定もないことから、資産除去債務を合理的に見積もることができないため計上していない。

計算書類の附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	定期預金(三菱UFJ銀行 新丸の内支店)	163,000,000	0	0	163,000,000
	定期預金(三井住友銀行 神田支店)	137,000,000	0	0	137,000,000
	基本財産計	300,000,000	0	0	300,000,000
特定資産	建物及び附属設備(東濃地震科学研究所計測室工事等)	2	0	0	2
	構築物(東濃地震科学研究所地殻観測井等)	62,576,653	0	9,241,184	53,335,469
	什器備品(東濃地震科学研究所地震観測装置等)	7,292,681	0	4,827,257	2,465,424
	退職給付引当資産 定期預金(三井住友銀行 神田支店)	261,593,100	26,005,200	0	287,598,300
	特定資産計	331,462,436	26,005,200	14,068,441	343,399,195

2. 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	18,669,659	19,690,348	18,669,659	0	19,690,348
退職給付引当金	253,109,100	23,905,200	0	0	277,014,300
役員退職慰労引当金	8,484,000	2,100,000	0	0	10,584,000

財 産 目 録

2025年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金	現金手許有高		0
	預金	< 普通預金 >	運転資金として	
		三菱UFJ銀行 新丸の内支店	(本部)	1,299,167
		三井住友銀行 神田支店	(本部)	59,565,394
		三井住友銀行 神田支店	(地震調査研究センター)	38,135,328
		三井住友銀行 神田支店	(つくば観測技術センター)	19,596,744
		三井住友銀行 神田支店	(科学研究費補助金)	147,444
		常陽銀行 大穂支店	(つくば観測技術センター)	4,688,864
		< 当座預金 >	運転資金として	
		三井住友銀行 神田支店	(本部)	1,000
		三井住友銀行 神田支店	(地震調査研究センター)	1,000
			< 現金預金計 >	123,434,941
	未収金	西日本技術開発株式会社	受託研究収益	126,500,000
		東京電力ホールディングス株式会社	受託研究収益	113,300,000
		国立研究開発法人防災科学技術研究所	受託研究収益	62,364,514
		その他	受託研究収益等	165,084,425
			< 未収金計 >	467,248,939
	前払金	地震観測装置等の再リース料	地震観測装置等の翌期に係る前払再リース料	16,928,606
		役職員前払通勤交通費	役職員の翌期に係る前払通勤交通費	4,928,830
		土地使用料	地震計設置地点の翌期以降に係る前払土地使用料	3,887,000
		その他	上記以外の前払費用	5,838,090
			< 前払金計 >	31,582,526
流動資産合計				622,266,406

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(固定資産)				
基本財産	基本金預金	< 定期預金 >		
		三菱UFJ銀行 新丸の内支店	共用財産であり、公益目的保有財産及び管理目的の財源として使用する財産	163,000,000
			うち、公益目的保有財産 50%	81,500,000
			うち、管理目的の財源として使用する財産 50%	81,500,000
		三井住友銀行 神田支店	共用財産であり、公益目的保有財産及び管理目的の財源として使用する財産	137,000,000
			うち、公益目的保有財産 50%	68,500,000
			うち、管理目的の財源として使用する財産 50%	68,500,000
			< 基本財産計 >	300,000,000
特定資産	建物及び附属設備	東濃地震科学研究所計測室工事等 2件	公益目的保有財産	2
	構築物	東濃地震科学研究所地殻観測井掘削工事等 15件	公益目的保有財産	53,335,469
	什器備品	東濃地震科学研究所地震観測装置等 24件	公益目的保有財産	2,465,424
		< 定期預金 >		
	退職給付引当資産	三井住友銀行 神田支店	当法人全職員の退職給付引当金及び全常勤役員の退職慰労引当金見合の引当資産として管理している。	287,598,300
			< 特定資産合計 >	343,399,195
その他固定資産	建物及び附属設備	本部研究部サーバ室間仕切工事等 13件	公益目的保有財産	10,658,913
		本部事務所LAN配線工事等 9件	(共用財産)	1,245,386
			うち、公益目的保有財産 90%	1,120,849
			うち、管理目的の用に使用する財産 10%	124,537
			< (その他固定資産) 建物及び附属設備計 >	11,904,299
	構築物	本部地震観測点設置工事 53件	公益目的保有財産	191,793,006
	什器備品	地震計等 170件	公益目的保有財産	11,067,540
		本部事務所パソコン等 18件	(共用財産)	4,624,060
			うち、公益目的保有財産 90%	4,161,655
			うち、管理目的の用に使用する財産 10%	462,405
			< (その他固定資産) 什器備品計 >	15,691,600
	リース資産	Trellix Network Security IPS NS 3600 Appliance	公益目的保有財産	11,940,682

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
	ソフトウェア	パソコンソフトWindowsSvrStd等 7件	公益目的保有財産	28,052
			＜(その他固定資産)ソフトウェア計＞	28,052
	電話加入権	03-3295-1501等 9本	公益目的保有財産	674,856
		03-3295-1966等 15本	(共用財産)	1,132,980
			うち、公益目的保有財産 90%	1,019,682
			うち、管理目的の用に使用する財産 10%	113,298
			＜(その他固定資産)電話加入権計＞	1,807,836
	敷金	千代田ビル8階395㎡ (本部事務所敷金)	(共用財産)	21,883,240
			うち、公益目的保有財産 90%	19,694,916
			うち、管理目的の用に使用する財産 10%	2,188,324
		千代田ビル8階 253㎡ (地震調査研究センター事務所敷金)	公益目的保有財産	13,297,080
		北信ビル5階 83㎡ (資料倉庫敷金)	公益目的保有財産	1,023,750
		高塚建設工業ビル2階42㎡ (つくば観測技術センター事務所敷金)	公益目的保有財産	300,000
			＜(その他固定資産)敷金計＞	36,504,070
	保証金	B・Fビル4階 54㎡ (資料倉庫保証金)	公益目的保有財産	960,000
		高塚建設工業ビル2階42㎡ (つくば観測技術センター事務所保証金)	公益目的保有財産	93,280
			＜(その他固定資産)保証金計＞	1,053,280
			＜その他固定資産計＞	270,722,825
固定資産合計				914,122,020
		＜固定資産内訳＞		
		公益目的保有財産(リース資産を含む)		473,635,156
		負債に対応する引当資産		287,598,300
		管理目的の財源等として使用する財産		152,888,564
資産合計				1,536,388,426

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動負債)	未払金	神田税務署	消費税及び地方消費税の未払分	7,732,400
		(株)エヌエフ回路設計ブロック	高感度地震観測施設の観測機器等予備品管理業務	4,180,000
		(株)エヌ・ティ・ティ・データCCS	クラウド環境構築他	3,682,250
		その他		52,579,887
		<未払金計>		68,174,537
	預り金	職員等に対するもの	職員及び委員等に対する源泉所得税、住民税、社会保険料の預り金	4,180,675
		委員等に対するもの	委員等に対する報酬源泉所得税の預り金	233,731
		科学研究費補助金	科学研究費預り金	147,444
		<預り金計>		4,561,850
	短期借入金	三菱UFJ銀行 新丸の内支店	運転資金	100,000,000
		三井住友銀行 神田支店	運転資金	100,000,000
		<短期借入金計>		200,000,000
	短期リース債務	東京センチュリー株式会社	Trellix Network Security IPS NS 3600 Applianceリース料の未払分	2,490,481
			<短期リース債務計>	2,490,481
	賞与引当金	職員に対するもの	2025年度上期職員賞与の引当金	19,690,348
<賞与引当金計>			19,690,348	
流動負債合計				294,917,216
(固定負債)	退職給付引当金	職員に対するもの	職員の退職給付金の引当金	277,014,300
			<退職給付引当金計>	277,014,300
	役員退職慰労引当金	役員に対するもの	常勤役員の退職慰労金の引当金	10,584,000
			<役員退職慰労引当金計>	10,584,000
	長期リース債務	東京センチュリー株式会社	Trellix Network Security IPS NS 3600 Applianceリース料	9,518,395
			<長期リース債務計>	9,518,395
固定負債合計				297,116,695
負債合計				592,033,911
正味財産				944,354,515

以上のとおり報告いたします。

2025年5月29日

公益財団法人地震予知総合研究振興会

会 長 金 沢 敏 彦

監事監査報告書

公益財団法人 地震予知総合研究振興会

会 長 金 沢 敏 彦 殿

2025年5月29日

公益財団法人 地震予知総合研究振興会

監 事 重本 一博

監 事 船田 孝司



私たちは、2024年4月1日から2025年3月31日までの2024事業年度における会計及び業務の監査を行い、次のとおり報告する。

1. 監査の方法の概要

(1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録の正確性を検討した。

(2) 業務監査について、理事会及びその他の会議に出席し、理事からの業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて業務執行の妥当性を検討した。

2. 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認める。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実認められない。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の財産及び損益の状況を正しく示しているものと認める。

以上

独立監査人の監査報告書

2025年5月21日

公益財団法人 地震予知総合研究振興会

会 長 金沢 敏彦 殿

出塚清治公認会計士事務所

東京都千代田区

公認会計士

公認会計士

出塚清治
小林 敬



<財務諸表等監査>

監査意見

私たちは、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第23条の規定に基づく監査に準じて、公益財団法人地震予知総合研究振興会の2024年4月1日から2025年3月31日までの2024事業年度の貸借対照表、損益計算書（公益認定等ガイドラインI-5（1）の定めによる「正味財産増減計算書」をいう。）及び財務諸表に対する注記並びに附属明細書について監査し、あわせて、正味財産増減計算書内訳表（以下、これらの監査の対象書類を「財務諸表等」という。）について監査を行った。

私たちは、上記の財務諸表等が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、当該財務諸表等に係る期間の財産、損益（正味財産増減）の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

私たちは、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における私たちの責任は、「財務諸表等の監査における監査人の責任」に記載されている。私たちは、我が国における職業倫理に関する規定に従って、法人から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。私たちは、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、事業報告及びその附属明細書並びに財産目録のうち意見の対象とされていない部分である。理事者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。また、監事の責任は、その他の記載内容の報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

私たちの財務諸表等に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、私たちはその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

財務諸表等の監査における私たちの責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と財務諸表等又は私が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

私たちは、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、私たちが報告すべき事項はない。

財務諸表等に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して財務諸表等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表等を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表等を作成するに当たり、理事者は、継続組織の前提に基づき財務諸表等を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に基づいて継続組織に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監事の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

財務諸表等の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表等に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表等の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・財務諸表等の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・理事者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに理事者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・理事者が継続組織を前提として財務諸表等を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続組織の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続組織の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表等の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表等の注記事項が適切でない場合は、財務諸表等に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、法人は

継続組織として存続できなくなる可能性がある。

・財務諸表等の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表等の表示、構成及び内容、並びに財務諸表等が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監事に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

<財産目録に対する意見>

財産目録に対する監査意見

私たちは、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第23条の規定に基づく監査に準じて、公益財団法人地震予知総合研究振興会の2025年3月31日現在の2024事業年度の財産目録（「貸借対照表科目」、「金額」及び「使用目的等」の欄に限る。以下同じ。）について監査を行った。

私たちは、上記の財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、公益認定関係書類と整合して作成されているものと認める。

財産目録に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、財産目録を、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠するとともに、公益認定関係書類と整合して作成することにある。

監事の責任は、財産目録作成における理事の職務の執行を監視することにある。

財産目録に対する監査における監査人の責任

監査人の責任は、財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、公益認定関係書類と整合して作成されているかについて意見を表明することにある。

利害関係

法人と私たちとの間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上